

# 会 議 録

第 1 0 回定例会

開会 平成 2 4 年 9 月 6 日

## 教育委員会会議録

1 開 会 平成24年9月6日 午後1時00分

2 閉 会 平成24年9月6日 午後2時45分

3 出席委員

委員長	佐藤 紘子
委員	水口 艶子
委員	西池 氏裕
委員	筒井 直典
委員	西 泰宏
委員(教育長)	佐野 義行

4 出席者

副 教 育 長	原内 司
教 育 次 長	尾崎 好秋
教 育 次 長	高橋 博義
教 育 戦 略 課 長	割石 容
教 職 員 課 長	松山 隆博
学 校 政 策 課 長	前田 幸宣
学 力 向 上 推 進 室 長	藤井伊佐子
教 育 総 務 課 長	東端 久和
教 育 総 務 課 副 課 長	藪下 武史

[開 会]

委員長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

委員長 配布されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

委員長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

委員長 協議事項1、報告事項2を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

委員長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《報告事項1 阿南市及び三好市・東みよし町地域の高校再編計画【骨子（案）】に対する意見募集の結果概要について》

委員長 報告を求める。

教育戦略課長 実施結果の概要を報告する。

〈質 疑〉

委員長：阿南地域は7400名を対象として、回答が228名だった。三好地域は3900名を対象として、13名だったということだが、今までの再編の際もこれくらいの数字だったのか。

教育戦略課長：今までは、地域協議会の報告書を受けて、再編計画を策定するという形を取っているため、意見募集という形を取ったのは今回が初めてである。

委員長：地域協議会は、この2地域でも行っているのか。

教育戦略課長：それは開催している。

水口委員：三好地域は受け容れてくれているのかと思う。阿南地域については、阿南工業高の関係者からは賛成の要望もあったということだが、168名は賛同しないということであり、今後再編計画を作り直して進めていくということで良いのか。

教育戦略課長：いただいた意見については、十分検討を行い、必要なものについては再編計画に反映していきたい。

水口委員：再編計画を進めるにあたって、反対の意見をどのように検討し反映されていくのか。

教育戦略課長：賛同しないという理由について、その意見の趣旨を踏まえて、工

夫して計画づくりを進めてまいりたい。

水口委員：作成した後は、住民の方への説明はあるのか。

教育戦略課長：再編計画案を策定した後、再度パブリックコメントを実施し、案に対するご意見をお聞きしていきたい。

教育長：今年4月には、鳴門市地域、吉野川市地域で新高校が発足している。

これまでも、再編を進めてきたが、すべての意見は反映できかねるところもある。総合的に判断をしながら、そこで学ぶ子どもたちに主眼を置き、子どもたちが学びやすい、充実した生活が送れるような学校にしたいと考えているので、またご意見をいただきたい。

西池委員：参考の数字の意味がよくわからない。普通に見ると、168名が反対し、39名が賛成であるとは見えにくい。どういう意味でこの数字を出しているのか。また、賛同しない方の主な意見が3つあるが、それぞれどのくらいの数があるのか。

教育戦略課長：再編計画の策定について、ご意見をいただきたいという趣旨で意見募集を行っているが、骨子案への賛否という意見をたくさんいただいたので、この数字は、そのまま整理した方がいいと判断した。それぞれの項目の数字については、持ち合わせていない。

西池委員：今の説明は理解できない。なぜ賛否の表決をする形になっているのか。骨子案についての意見を伺うということであって、賛否の表決をとるのではない。どういった意見があったかを書けばいいのであって、こういう形で出せば根本的見直しが必要ということしか意味していない。

設置学科について、こうすれば賛成するというのであれば要望・提言になるが、「一地域に集中」「地域の衰退」という理由は全部止めてくれということであり、その辺を区分けしないと、賛否の実態を反映していないのではないのか。これが本当に地域全体の意見なのか。

教育戦略課長：意見募集の広報等を行ってきたが、結果として228名からの提出だった。地域全体の意見かどうかということについては、全体の意見を表しているとは言い難いと思っている。

西池委員：数字というのは一人歩きをするものだ。第三者が見たら、40名の賛成に対し、4倍の170名が反対しているというのが地域の意見だと取られかねない。

教育戦略課長：そう言った誤解を招かないように、今後関係各方面に説明をする際には、数字の扱いについて、十分慎重にさせていただくよう説明する。

副教育長：再編計画に対する要望・提言をいただく目的で募集を行った。概要も、要望・提言についてこういった内容であったというまとめ方をしている。

参考までに、賛否の表示もあったことから書かせていただいたが、数字が一人歩きしないようにとのご意見であるので、その辺は説明も十分気を付けたい。  
教育長：数字の中には反映されていないが、阿南工業高の関係者が来られてご意見を伺う機会があった。その中で共通することは、地域の子どもたちが充実した教育を受けられるようにということであった。教育内容、学校のあり方について積極的に意見を汲み上げていきたいと考えている。

その中でご理解をいただくように進めていきたい。

指摘のあった数字についても、一人歩きしないようにとは思いますが、数字が目目されるという判断もあり、受け止めさせていただこうと考えた。

水口委員：教育長は、阿南工業高の意見は聞いているけれども、新野高の意見は聞いているのか。

教育長：新野高側からも、同じような文書をいただいているが、面会の要望がなかったのでお会いはしていない。ご意見を伺うつもりはある。

水口委員：数字の一人歩きというのもあったが、阿南市内から南の人間にとって非常に重要な問題であると受け止めている。両方の意見をしっかりと聞いて、再編計画を策定していただきたい。

委員長 報告事項1を了承する旨を告げる。

《報告事項3 平成24年3月県内高等学校卒業生の進路状況について》

委員長 報告を求める。

学校政策課長、学力向上推進室長 進路状況等を報告する。

〈質 疑〉

水口委員：一時的仕事について、今後、どうなったかといった追跡調査はあるのか。

学力向上推進室長：追跡調査はない。

水口委員：一時的仕事について、今後人数は増える傾向にあるのか。

学力向上推進室長：各高校別に見たら、少しずつが積み重なった形である。

西池委員：大学等進学率が下がった理由、また就職が増えた理由を説明して欲しい。

学力向上推進室長：景気の悪化から就職ができるのであればしておこうという選択もあり、就職の割合が上昇し、進学等の割合が下降したと思われる。就職は、製造業が増えたためである。

西池委員：このことが、良いか悪いか、意見を聞かせていただきたい。

学力向上推進室長：生徒の希望が達成できることが大事である。

西池委員：私も室長のお考えに賛同している。今後、進路の複数路線選択が進むのか、従来のヒエラルヒのままか。大事な問題がここにあると思う。

学力向上推進室長：なお、国公立大学の進学数が下がったのは、志望を貫き、予備校に行っている者が増えていることもあると思われる。専修各種の人数が増加しているが、ここに予備校が含まれており、こういったことも一つの要因と思われる。また、公立大学はすべて県外にあるため、経済的な理由から減ったこともあると考えられる。

教育長：国公立大学にだけとらわれない、私立大学等も含めて、何をどこで学ぶかが大事で、一つの指標だけではかるのは良くない。本当の学力が何かを分析し、何を選んでどうしたかを検証する必要がある。旧帝大も一指標であるが、違うところも考えて、論陣と資料の在り方を考えることが必要である。

委員長：一時的仕事について、今年は、悪いとは言えないが、気になる。

学力向上推進室長：一時的仕事については、女子が多い状況がある。

委員長：男女の進学における違いはあるのか。今後、検討をしていって欲しい。

委員長 報告事項3了承する旨を告げる。

《議案第28号 平成24年度（平成23年度対象）徳島県教育委員会の点検・評価について》

委員長 説明を求める。

教育総務課長 徳島県教育委員会の点検・評価の概要、教育行政点検・評価委員会での意見の概要等を説明する。

〈質 疑〉

委員長：点検評価委員会における「全般的な御意見」については、なるべく客観的な評価ができるものにする、ということとあわせて、次期教育振興計画に反映していくということでよいか。

教育総務課長：反映が難しい部分もあるかもしれないが、次期計画に反映するよう関係各課とともに取り組んでまいりたい。

委員長 議案第28号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

委員長 議案第28号を原案どおり決定する旨を告げる。

[非公開]

《協議事項1 平成24年度9月補正予算案について》

《報告事項2 人事案件について》

(非公開につき、議事の内容については省略)

[閉 会]

委員長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午後2時45分